

暮らしに安心を！

災害対策や交通安全対策など、市民のみなさんの暮らしに安心をお届けします

新規 市庁舎整備基本構想の策定

1,517万3千円

老朽化した市庁舎の整備に向けた基本構想を策定します。

新規 公民館設備の更新

1,028万円

公民館運営に支障が生じないよう、各施設の設備を整備します。

新規 アスカル幸手設備の更新

867万1千円

非常放送設備の更新、シャワー設備の更新準備や駐車場用地の取得準備など、アスカル幸手の各設備を整備します。

継続 交通安全施設の整備

350万4千円

交通事故を減らすため、路面標示やカーブミラーなどの交通安全施設を整備します。

継続 LED防犯灯・道路照明灯の整備

1,289万5千円

交通安全対策や安心できる住環境整備のため、防犯灯・道路照明灯のLED化工事を行います。

継続 市内循環バスの運行

4,467万円

市民の日常の移動手段となる公共交通網を確保し、快適な暮らしを支える市内循環バスを運行します。

継続 AEDの更新

590万5千円

人命救助に役立てられるよう、公共施設などに設置しているAEDを更新します。

継続 市道1-1号線（広域農道）等道路の舗装（緑）

1億7,718万2千円



安全・安心で円滑な通行を確保するため、道路の舗装を行います。

継続 排水ポンプ交換等の水害対策（緑）

3億3,595万1千円

台風や集中豪雨の際、河川や水路などの増水による水害を防ぐため、河川、水路、排水ポンプ場などを整備します。

住みつづけたい！

定住促進のための補助や教育・子育てを豊かにする事業に取り組み、住みつづけたいまちづくりを進めます

新規 放課後児童クラブの整備（緑）

6,514万2千円

幸手小学校内の放課後児童クラブ室を拡張し、上高野小学校内には新たな放課後児童クラブ室を建設します。

新規 こども家庭センターの整備

743万3千円

妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う窓口を整備します。

新規 妊婦期から子育てまでの一体的支援（緑） （伴走型相談支援と経済的支援）

4,358万6千円

妊娠時と出産時にそれぞれ5万円を支給するほか、妊娠・出産・子育てに伴走型で相談支援を行う体制を整えます。

新規 パーソナル知育絵本の作成

65万7千円

2歳児を対象に子ども一人ひとりの名前などを入れたオリジナル絵本を作成し、子育て教室にて配付します。

新規 学校給食費値上げ相当額の補助

1,094万8千円

物価高騰などに伴う給食費の値上げ額に相当する金額を補助します。



継続 しあわせ家族ウェルカム補助金

400万円

40歳未満の若者夫婦世帯が転入し、市内で初めて住宅を取得する際の費用を補助します。

継続 幸手産お米引換券の配付 （ハッピー・スマイ（米）ル推進事業）

3,203万6千円

就学前の子どもがいる世帯に対して幸手産米（子ども1人当たり60kg）の引換券を発行します。

令和5年度の事業の一部を紹介しています。詳細は、「予算書」「幸手市の予算概要」をご覧ください。市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館（本館および香日向分館）、市ホームページにて閲覧いただけます。

令和5年度 幸手市

施政方針

幸手市長 木村 純夫

一般会計当初予算額は165億7千万円となり、令和4年度と比べて6億3千万円、率にして4.0%の増額となる予算を編成しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、限りある貴重な財源を適切かつ効果的に配分し、子育てや教育、福祉、防災など、各施策を実施することにより、第6次総合振興計画の基本理念である「みんなでつくる 幸せを手にするまち 幸手」の実現に取り組みます。

令和5年1月の内閣府月例経済報告によると、我が国の経済情勢は、「景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。」とされています。ウイズコロナの状況下にあつて、地域経済でも、僅かではあります。が回復の兆しが見え始めています。引き続き感染拡大防止に努め、市民のみなさん、国や県、関係団体との連携を図りながら、市政運営に取り組んでまいります。

当市においては、昨今の物価高騰などの課題や、高齢化などによる社会保障関係経費の増加、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少など、これまでの課題に直面する中で、公共施設の老朽化・長寿命化対策や庁舎整備、激甚化する風水害や大規模な地震への防災・減災対策など、多額の財源を必要とする課題とも向き合い、克服していく必要があります。

このため、令和5年度は、国の動向や経済情勢を注視するとともに、幅広い目線で市民のニーズを把握し、限られた財源を効果的かつ効率的に配分して、「市民本位」の行政運営を行うための予算を編成しました。

令和5年度の主な施策と予算額

一緒につくりあげよう！

市民のみなさんにご参加・ご協力いただきながら、商工・観光・文化などのさらなる活性化を図ります

新規 部活動の地域移行に向けた指導者の配置

95万5千円

市立中学校の部活動地域移行に向け、外部指導者を指導員として配置します。

継続 市民まつりの開催

360万円



市を活気ある「ふるさと」として発展させるため、市民まつりを開催します。

継続 観光協会への補助

1,500万円

権現堂桜堤などの観光資源を活用した観光振興のため、観光協会の運営費の一部を補助します。

継続 文化祭の開催

229万7千円

文化団体や市民に、日ごろの文化活動の成果発表の場を提供するため、アスカル幸手で文化祭を開催します。

継続 市民体育大会の開催

220万円

スポーツを通じて、市民の健康・体力づくりを推進するため、市民体育大会を開催します。



継続 公民館主催事業の開催

103万円

文化・スポーツ活動推進を図るため、公民館で各種講座を開催します。

（緑）のついたものは、令和4年度補正予算に計上し令和5年度に執行するいわゆる「13か月予算」を含む事業です。